日本特別ニーズ教育学会
第32回研究大会

大会テーマ 『戦争・核・平和』と特別ニーズ教育

長崎大学・鎮西学院大学
の共同開催

2026年10月17日(土)～18日(日) 前日プログラム:10月16日(金)
会場:長崎大学教育学部(文教キャンパス)



世界では戦争や武力紛争が続き、子どもたちの生命・生活・学びは深刻な影響を受けています。特別ニーズ教育は、「戦争・核・平和」の課題にどのように向き合っていくべきなのか。被爆地である長崎から、みなさまと共に考えたい。その思いを込めて、2019年の第25回大会以来7年ぶりに長崎にて開催します。

主なプログラム

17日(土)

基調講演「長崎原爆と特別ニーズ教育―破壊と創造の遺産に学ぶ―」
平田勝政(長崎大学名誉教授・鎮西学院大学名誉教授)

課題研究シンポジウム「『戦争・核・平和』と特別ニーズ教育」
企画　研究委員会・髙橋智(研究委員長・東海学院大学)
進行　髙橋智(東海学院大学)・武井哲郎(立命館大学)
報告1　髙橋智(東海学院大学)
　子どもの「戦争・核・平和」問題と特別ニーズ教育研究の視座―長田新(1951)『原爆の子―広島の少年少女のうったえ―』を手掛かりに―
報告2　石川衣紀(長崎大学)
　長崎にて原爆被爆した子どもの「いのち・生活・学習・発達」問題のリアリズム―長崎市立城山小学校「原爆学級」(1952～1958)の被爆児教育を中心に―
報告3　岸博実(日本盲教育史研究会)
　視覚障害と戦争:盲教育史の視点から
報告4　菅達也(鎮西学院大学)
　障害・特別ニーズを有する子どもの平和教育実践:長崎県の特別支援学校を事例に
指定討論　平田勝政(長崎大学名誉教授・鎮西学院大学名誉教授)・村上美奈子(立正大学)

18日(日)

準備委員会企画シンポジウム「教師不足時代における魅力ある特別支援教育教師養成の展望」
進行　田部絢子(日本大学)・田中謙(日本大学)
話題提供1　佐久間亜紀(慶応義塾大学)
　教員不足時代の教員養成改革を問い直す:「大学における教師養成」はどこへ向かうのか(仮題)
話題提供2　田中謙(日本大学)
　日本の特別支援教育教師養成のあり方を考える:「特別支援教育作業部会」提案の問題と課題(仮題)
話題提供3　戸ヶ崎泰子(宮崎大学)
　地域の特別支援教育の教師養成に貢献する国立大学教育学部のあり方を考える(仮題)
指定討論　髙橋智(東海学院大学)・高橋浩平(前東京都杉並区立桃井第一小学校長)

会場アクセス

会場:長崎大学文教キャンパス　所在地:長崎県長崎市文教町1−14
JR長崎駅より→路面電車:「長崎駅前」→(赤迫行き)→「長崎大学」下車
　長崎バス:「長崎駅前」→(1番系統「溝川」「上床」「上横尾」行き)→「長崎大学前」下車
長崎空港より→県営バス「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行き)→「長大東門前」下車

参加登録

参加申込はこちら
右記サイトまたはQRコードよりお申し込み下さい。 https://sne32.peatix.com/view
参加申し込み締め切りは~~10月9日(金)~~10月15日(木)正午です。必ず事前にお申込みください。
若手チャレンジ研究会・中学生・高校生招待企画・前日プログラムの申込方法は学会ウェブサイトをご覧下さい。

裏面へ続きます

後援　長崎県教育委員会／一般社団法人長崎原爆被災者協議会
長崎県被爆者手帳友の会／長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会
長崎県手をつなぐ育成会／長崎市手をつなぐ育成会

プログラム全体

10月16日(金)			
13:00～15:05	**【前日プログラム】「長崎市立城山小学校「原爆学級」の記憶と平和への願いを世界と未来につなぐ集い―世界最初の被爆児救済教育は「被爆長崎の宝」―」(於・長崎市立城山小学校)** 本大会のテーマ「『戦争・核・平和』問題と特別ニーズ教育」の一環として、1952年に長崎市立城山小学校に設置された世界最初の被爆児救済教育である「原爆学級」を取り上げます。原爆学級の歴史的意義・価値を学び、卒業生の語りと子どもたちとの対話を通して、その記憶と平和への願いを世界と未来へどう受け継ぐのかを考えます。		
10月17日(土)			
8:30～	受付開始		
9:00～	オープニング・セッション　学会代表理事挨拶、準備委員長挨拶		
9:15～11:45 同時並行での開催	**【自由研究発表Ⅰ】** **【若手チャレンジ研究会Ⅰ】** **【中学生・高校生・特別支援学校中学部・高等部生招待企画】** **Project for Next SNE Researcher**	**【ラウンドテーブルⅠ】** 子どもの「食」は発達する ―食べることに悩みや不安を抱える子どもと家族、支援者のために―	**【準備委員会企画】** **長崎地域特別支援教育分科会** ①不登校への支援課題、②特別支援学校のキャリア教育、③大学等での障害学生支援、④読み書き障害の支援の実際、⑤特別支援学校での平和教育実践、⑥九州における教員不足問題と特別支援教育教員養成の課題
12:00～12:40	**【準備委員会特別企画】「長崎原爆の家族証言：爆心地近くで家族4人を亡くして」** 中村尚子(東京被爆二世・三世の会、長崎原爆「家族・交流証言者」)		
12:45～13:45	**【基調講演】「長崎原爆と特別ニーズ教育―破壊と創造の遺産に学ぶ―」** 平田勝政(長崎大学名誉教授・鎮西学院大学名誉教授)		
14:00～16:30	**【課題研究シンポジウム】「『戦争・核・平和』と特別ニーズ教育」**		
18:00～20:00	懇親会 (雑魚屋　思案橋店)		
10月18日(日)			
8:00～	受付開始		
8:30～10:30 同時並行での開催	**【自由研究発表Ⅱ】** **【若手チャレンジ研究会Ⅱ】** **【中学生・高校生・特別支援学校中学部・高等部生招待企画Ⅱ】** **Project for Next SNE Researcher**	**【ラウンドテーブルⅡ】** 学会員からの企画提案 プログラム詳細は9月下旬～10月上旬に発表予定	
11:15～12:30	学会総会(学会奨励賞表彰式)		
12:40～14:40	**【準備委員会企画シンポジウム】** **「教師不足時代における魅力ある特別支援教育教師養成の展望」**		
14:50～15:30	クロージング・セッション 準備委員長閉会挨拶、優秀発表賞発表・授賞式、次期開催校挨拶、学会代表理事挨拶		



参加費

正会員	5,000円(発表要旨集代金含む)
臨時会員(一般)	6,000円(発表要旨集代金含む)
＊臨時会員大会1日のみ参加	3,000円(発表要旨集代金含む)
＊前日プログラム(10月16日)のみ参加	1,500円(発表要旨集代金含む)
大学院学生	3,000円(発表要旨集代金含む)
学部・専攻科学生	1,500円(発表要旨集代金含む)
高校生以下	無料(発表要旨集代金含まず)
発表要旨集代金	1冊　1,000円
懇親会	4,500円　＊先着80名まで

第32回研究大会準備委員会

大会準備委員長：鈴木保巳（長崎大学）　大会副準備委員長：菅達也（鎮西学院大学）　事務局長：石川衣紀（長崎大学）
大会開催有志：樫本由貴（長崎大学）・木永勝也（長崎総合科学大学）・
中村桂子（長崎大学核兵器廃絶研究センター）・山口響（長崎大学核兵器廃絶研究センター）

準備委員会事務局メール　taikai@sne-japan.net(担当:石川衣紀)